

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 3月号 (NO95)

2018年3月10日 (土) 発行 (毎月10日)

【農暦】三寒四温とはいうが！

○三寒四温とはいうが、春の訪れを感じる陽射しがあったと思えば寒い日に戻る。三度目になると春の嵐がやって来る。台風を思わせる雨と風が吹きつける。弾丸低気圧が日本列島を縦断する。一日で温度差が10度近くになる。身体が対応できずにいる。そんな時、鶯が鳴いた。未だ上手く鳴けていないまま三度だけであった。春遠いと止めたのかも知れない。災害列島と言われるが異常気象による被災のニュースが続いている。6日は啓蟄(けいちつ)で冬籠りの虫が這い出る時季と言われる。松の木の菰外しのニュースをやっていたが、虫も迷うのではないかと思う最近の気候である。(7日)

○元会社のOB会が上野の谷中、寛永寺の反対側で繁華街から少し離れた処にある中華店で行われた。先月の17日だったが、この日は底冷えする日だった。いろいろな形で活躍されている様子で話しは弾んだが、お酒も料理も大分残ってしまった。美味、美酒なのだがちょっとだけ寂しい。スポーツ大会を控えての指導で欠席もあるなど、まだ現役？だよにちょっと刺激を受けた。また笠間に来たいの話も出た。みんなが元気なのが何よりだった。帰路での寒風に身体のコまで凍ってしまいそうだった。酔い覚めもあつてか、最近では経験しない寒さに震えた。ここ一ヶ月は異常気象もあり、頭も身体も畑に向っていない。



<誕生日祝い>笠間焼のお雛様と恒例の会で。3日撮影

○雪と寒風で大破したハウスのビニールが気になっていた。先月の24日にIさんに手伝って頂き片付けを行った。草の緑が見え始めた畑の耕起を7日に行なったのだが、また炬燵に戻ってしまうような寒い日も多い。今年は更に、小さな区画に少量をと考えている。すり減ってしまった草払い機の刃の取り換え、種の準備など始めたいと思う。庭の紅梅は満開、水仙の花、クリスマスローズの花が咲いた。春の訪れを実感させてくれる。畑の準備は急がねばと思う。(9日)

【楽農】破れたビニールシートの片付け、耕起など！

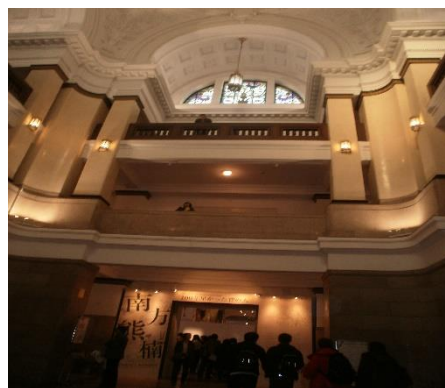
<畑A> ; なし <ハウス> ; シートはがし <畑B> ; 耕起。

【楽市】イベント交流・直売など

○イベントなど ; 詩吟例会 (21日) 共生つばさの会(1日)川柳の会 (1日) OB会 (17日) に参加など。○その他 ; なし

【つぶやき=Tweet】男より女の方が、歓びが多いように思える！

○“南方熊楠—100年早かった智の人”の企画展を国立科学博物館（上野公園）で開催しているのを新聞で知った。同じ上野でOB会がある。こんな機会はないと観ることにした。大分前になるが、南方熊楠は社会学者の鶴見和子（鶴見俊輔の姉）のラジオで知り、本も読んだ。大変な智の人である。熊野古道の木を伐採（明治政府）から守った人である。生態系保護（伐採反対）運動で監獄にも入れられた。交流のあった民俗学の柳田邦男（当時政府の要職にあった）の協力もあり伐採を止められた。伐採材の利益は膨大な戦争債に使われたという。エコロジストの先駆けの人である。粘菌に関心があった昭和天皇に御前講義を行なったことでも知られている。公害の原点ともいわれる足尾銅山（鉍毒）の田中正造もおられるが、日本人に素晴らしい人が沢山いる。



＜南方熊楠展の前で＞丸天井・ステンドグラスが雅。17日撮影

○国立科学博物館には他の展示物がいろいろあった。最後に360度スクリーンで見たの食物連鎖・多様な生物が微妙なバランスの成り立っていると西田敏行がトークした映像は環境保全の大事さを改めて痛感させられた。曇りで底冷えのする日だったが、若い人の見学者が多かった。上野の桜も好いが科学博物館に行くことをお勧めしたい。環境問題の原点を見せられたような気がした。



＜募金箱＞お札が多い。南方熊楠の評価・関心が高い。17日撮影

○少し前になるが、テレビに瀬戸内寂聴さんが出ていた。3年前？に胆嚢癌の全摘手術をしたと、苦痛で“うつ”になるほどあったと話されていた。

66歳年下の秘書の瀬尾さんとペアヌード撮影の話が篠山紀信からあったこと。不倫報道は騒ぐ過ぎ、不倫は雷に打たれるようなもの。不倫がなかったら世界の文学作品はない。生んだ子は自分が育てる。私の時代は子連れでは生活出来なかったが許されないことである。女は苦痛も多いが歓びも多い。などと話されていた。術後の95歳だと思えない。

○確かに、男より女の方が、歓びが多いように思える。定年後世代でボランティアなど社会活動している人の9割以上は女性である。この世代に限れば、男女共同参画は“男”に必要なようである。95歳のヌードはチョト怖いが、寂聴法話が聞きたくなる。

【後記】 畦にオイヌノフグリの花、ホトケノ坐の花が、春は近い。笠間に。
kogure 農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；kogure農場・小暮虎雄
住所；笠間市本戸4201-10
HP；<http://ayaharu.my.coocan.jp>